

1 これまで3年間（H20～22 年度）の取組について

1 児童・生徒の状況

(1) 学習事項の定着（学力）について

(成果)

全般的に基本的な生活習慣は身につけている。学校全体で統一されている授業規律の中での学習により、学力が定着してきている。平成 19 年度 20 年度の全国学力調査結果や大阪府の学力テストにおいて平均正答率は全てにおいて高いポイントで上回っている。

主に知識の力を見る調査についての分布図では、国語、算数ともかなり右側に大きな山が見られる。主に活用の力を見る調査においてその山がなだらかな 2 極化になっていたが、平成 21 年度 22 年度の調査結果では山が中央にでき両側に広がっており底上げされた 2 極化へととなっている。

教科別の具体的な課題の明確化、一人ひとりの児童の実態に合わせた支援、指導方法の改善と授業の工夫、また家庭学習等が全体的な正答率の上昇と低得点層減少の結果につながっている。

(課題)

学力調査結果より主に知識の力では、全般的にこれまでのドリルや漢字学習、読書など基本的な学習の成果が現れている。九九やプリント学習でも投げ出すことなく真面目に取り組んでいるが、基礎基本を大切に丁寧な文字で正確に書く力や桁数が多くても正確に計算する、図やグラフ面積等イメージしながら学習する力は、一人ひとりにあった支援によって更なる向上と定着の必要がある。

活用の力についても向上はしているが、そこから見えてきた課題として

- ・ たくさんの情報の中から必要な情報を選択し整理し解決する力
- ・ 相手を意識しながら自分の考えを伝え合えるコミュニケーション力

何を問われているのか何をすればよいのかを自己決定し自分の考えや意見を表現する事が苦手である。また、読書量も多く作文も長く書ける児童が大半だが、文章から情景や心情を読み取る力や、レポートや、文を要約して書く力に課題が見られる。授業のあらゆる機会を捉えて身に付く方法を考え交流していく必要がある。

(2) 「ゆめ力」「自分力」「つながり力」「学び力」の育成について

(成果)

児童アンケートや担任の児童実態把握から学年で、育んでいきたい内容について交流を深めている。基本的な生活習慣が身に付いており、家庭学習もきちんとできている児童が大半である。学校が楽しく、将来に夢を持ち目的に向かって勉強しよう努力しようと頑張れる児童が多い。

「ゆめ力」 将来への夢と展望を持ち社会に貢献する一員としての自分像を描ける力の育成

「自分力」 身の回りのことを、自分でやりきる力の育成

「つながり力」 転入生を大切にし、互いのまなびや方法の多様性からできる豊かなクラスづくり

「学び力」 児童の興味関心を引き出し学び方を身につけ多様な考え方がることにより更に豊かな考え方ができる授業づくりを、具体的な目標として取り組みをしている。

長期的には習得型の教育から探求型の教育を目指していきたいと考えている。

(課題)

新しい街のため様々な場所からできたクラス集団で幼少の頃からの繋がりが希薄である。友だちの良いところをたくさん見つけ互いに支え合いだめなことはだめといえるえる集団、失敗しても受け止めてもらえる、安心して何でもはなせる学級集団づくりを基盤として児童の人間力を育んでいくことが課題である。

2

学校の取組

(成果)

確かな学力の育成に向けて、基礎基本の定着、思考力の向上、表現力の育成を柱として研究を進め校内システムを確立してきた。研究授業は努力目標推進委員会、学年部会が中心となり1学年1回、事前・事後の授業等を行い工夫、改善しながら実施している。評価の観点については努力目標推進委員会で内容を確認、反省会でグループ討議の柱としている。朝学や補充時間で基礎力向上のプリント学習をする時間、SPT彩都パワーアップタイム・SST彩都サクセスタイム、問題解決学習を中心とした算数科が年間を通して実施できた。読書タイムは、地域の方や保護者の方との連携で読み聞かせボランティア・パネルシアターなど充実できた。

学力調査については解答の検証を全員で行い、検証した内容をもとに、現学年で取り組みの具体化実態交流に結びつけることができた。

(課題)

朝学習では、学年の繋がりを考え系統立てを図る。今年度の反省を具体化し次年度のスタートへと移行する。各学年の研究体制がしっかりと構築されているので今後もこの体制を基盤として研究を推進する。また研究の成果は、学年に留めておくことなく全職員の力となるよう意識付けを行い発表の機会を設ける。学年、研究部、全体会の体制を継承し全職員の指導力向上、授業の工夫と改善の底上げを図っていく。

2

これから3年間（H23～25年度）の取組について

1

3年間の重点課題

	重点課題	検証軸	25年度の到達目標
①	<p>*確かな学力の育成（知）</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎基本の定着・習熟の時間の充実ときめ細かな授業・指導の充実、家庭との連携。習得が十分でない児童への支援。 応用力、活用力の向上・指導方法の研究や教材の開発 学習意欲の向上・学習規律や何でも話せる集団づくり 国際コミュニケーションの能力の基礎を培う（外国語活動） 	<ul style="list-style-type: none"> 府の学力・学習状況調査 SPT, SST 学習プリント、各単元後に実施する単元テスト 教職員による日常の指導・観察 年度末評価と見直し 児童アンケートや振り返り感想 学校教育自己診断アンケートや評価委員会 	<p>全ての児童が学校が楽しいと思える環境づくりをする。学習意欲を向上させ、全体の平均正答率 80 パーセント以上の割合を向上させる。習得が十分でない児童への基礎的知識の徹底と応用力の育成により2極化をなくす。</p>
②	<p>*育みたい4つの力（徳）</p> <p>「ゆめ力」将来への展望を持ち社会に貢献する一員としての自分像を描ける力の育成。 「自分力」身の回りのことを、自分でやる。規範意識を持ち自分をコントロールする力。 「つながり力」友だちや周りの人を尊重し積極的に人間関係を築こうとする力。 「学び力」学校の授業で意欲的に学ぶ力。長期的に習得型から探求型の教育を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教職員による日常の指導と観察 学校教育自己診断アンケート 児童の作文日記やアンケート 学年会や児童交流会 	<p>本校の教育目標や目指す子ども像に沿って集団づくりを中心に子どもどうし、子どもと教師、教師と保護者地域の方との人間関係を深め4つの力の向上に取り組み調和のとれた人間の育成をする。</p>

③	<p>*体力向上の取り組み（体）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔軟な身体づくり ・茨木っ子運動の活用 ・運動に親しむ子どもの育成を目指した授業の充実 ・運動の意識高揚を図る機会を設ける取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で組織的に取り組む「体力向上プラン」の策定 ・スポーテストによる検証 ・児童アンケートや振り返り感想 	<p>運動（スポーツ）をすることが好きな児童を全国平均より増加させる。</p>
---	--	---	---

2 3年間の取組計画

3年間共通の計画	年度ごとの計画	
<p>*確かな学力の育成（知）</p> <p>基礎知識の徹底の実現 学習習慣の定着 基礎的知識徹底のための授業指導の充実</p> <p>応用力育成 応用力育成のための授業・指導の充実</p> <p>学習意欲向上 幅広い体験学習の充実と児童の興味関心の向上 国際コミュニケーションの能力の基礎を培う（外国語活動） 小・中連携</p> <p>*育みたい4つの力（徳）</p> <p>「ゆめ力」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物事を最後までやり遂げる体験を多く持つ ・社会に貢献している様々な人々のことを学ぶ ・総合的な学習の時間等でモデルとなる大人にふれあう <p>「自分力」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのことを、自分でやる。 ・規範意識を持ち自分をコントロールする力をつける。 <p>「つながり力」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶ができ周りの人を尊重し積極的に人間関係を築こうとする力。 ・友だちの良いところを学び支え合い協力できる力の向上 <p>「学び力」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の授業で意欲的に学ぶ ・興味関心力の向上 ・習得型から探求型へ移行 <p>*体力向上の取り組み（体）</p> <p>体力向上担当者を中心に体育部会、学年等組織的に取り組み体力向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動(スポーツ)をすることが好きになれる授業工夫や取り組みを進める ・柔軟な身体づくりや茨木っ子運動の活用 	平成 23 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・23年度学力・体力向上テーマ設定 ・推進体制 ・取り組み ・応用力育成と基礎的知識の徹底 ・読解力向上 ・SST・SPTの充実 ・研究授業 ・教材研究・開発 ・情報資料収集 ・1年目の総括 (評価と次年度への見直し)
	平成 24 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・24年度学力・体力向上テーマ設定 ・推進体制の検討 ・取り組み ・2年目と2カ年の総括 (評価と次年度への見直し)
	平成 25 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・24年度学力・体力向上テーマ設定 ・推進体制の検討 ・取り組み ・3年目と3カ年の総括 (評価と次年度への見直し)

3 推進体制

